



行田市民大学 広報たより

2025年
(令和7年)
7月1日発行
広報部



行田市民大学
ホームページ
QRコード

令和7年度入学式・始業式特集

行田市民大学令和七年度

入学式・始業式挙行



行田市民大学令和7年度入学式・始業式が風薫る5月8日に、行田市総合体育館グリーンアリーナ研修室で挙行された。1学年16期生32名、2学年15期生25名の皆様入学、進級おめでとう。

今村武蔵理事長は「健全寿命、幸福寿命とは幸せを感じる期間、自立して生きられる期間を言う。人生100年の生活が天寿を全うする、介助



行田邦子学長

行田邦子学長は「行田市民大学で2年間共に学ぶ喜びを味わい学ぶことは楽しいことと認識し充実した生活を送ってください。」と挨拶した。



今村武蔵理事長

で生きながらえるの2極化する。心の幸せの状態にはやってみよう、ありがとう、何とかなる、ありのままに、と四つの因子がある。行田市民大学で学ぶことによって幸福寿命を延ばしてください。」と述べた。



永島宏章
行田市民大学
同窓会会長

続いて、来賓の永島宏章同窓会会長は「第1期生にはグループ研究の成果を本にまとめた皆さん、ノーベル平和賞を受賞された卒業生もいる。交流、コミュニケーションを図って研鑽を積んでほしい。」と述べた。



渡辺充教育長

来賓の渡辺充行田市教育委員会教育長は「学び続ける意欲に敬意を表します。卒業後は新しい行田を作る原動力になってほしい。」と挨拶した。

行田検定

旧忍町信用組合店舗を水城公園に移築・改修・復元して保存するとともに、子育て世代の方々が活躍できるカフェとして再活用しました。

建物の愛称&カフェの名前は公募で決定しました。

例題「●このカフェの名前は次のどれですか。」

ア グリーンカフェ
イ カフェミズシロ
ウ ヴェールカフェ

答は本紙裏面にあります。また、HPには他の問題と解答の説明もあります。



オリエンテーション風景

1学年のオリエンテーションでは、今村武蔵理事長が「市民が主体で設立した市民大学。基本理念はたのしい、うれしい、すばらしいの3本柱と市民大学設立経緯を説明し、一方向的に聞くだけでなくグループ仲間で研究してほしい。」と自主性を呼びかけた。いよいよ行田市民大学生活がスタート。

オリエンテーション



入学式・始業式風景

「共に学ぶ仲間に出会えること」は、うれしいことです

行田市民大学の活動

Facebook



行田市民大学
Facebook
ご覧ください

令和6年度行田市民大学グループ研究発表会

14期2学年発表

歴史・文化グループⅠ

●江戸時代のリサイクルシステム

究極の循環型社会「江戸時代」の日々の暮らしを調査研究し、現在のSDGsに着目して、比較検討を行った結果、聴衆も考えさせられる研究発表となった。



歴史・文化グループⅡ

●古墳を楽しむ

行田の古墳を勉強した上で、さきたま古墳の特異性や保存状態の優位性を研究認識。ほかの地域の古墳にも出掛け、「あったらいいな」を合言葉に修復、掲示板、復元模型提案など、「楽しむさき



たま古墳」を発表した。
福祉・健康グループ

●シルバーエイジの健康増進

人生百年時代を生きる公園に「成人・高齢者向け遊具・器具」の設置を

高齢化社会に突入した現代、行田市民の健康保持・増進に寄与する方策として、子ども主眼だった公園に着目。公園の数、遊具設置数、器具を実際に体験し、必要性を研究、要望まで発表した。



15期1学年発表

環境グループ

●クビアカツヤカミキリ調査

域の自然を破壊し、桜の枯死を増加させている。被害対策についての現状の取り組みを



調査し、被害を少なくする方法を他市、環境科学国際センターや製菓会社、専門家などから実証実験成果として集め、まとめたものとなった。

歴史・文化グループ

●魅力的な行田の歴史と文化

忍城誕生から成田氏退城、松平家入場から元禄大改修前。大改修から松平忠麿入城までの歴史・文化を選び、調査研究し、行田の魅力の一つのテーマに「押し活」することとした。



福祉・健康グループ

●豊かに楽しく過ごすための健康づくり

東京大学高齢社会総合研究機構「フレイル予防ハンドブック

行田検定 答ウ



産業・経済グループ

●行田市の観光振興について

行田市の観光政策を産業としてとらえ、経済効果を中心に振興策を検討し、具体策を提案した。古代蓮アンケート、桐生市、足利市を研究視察。1年間研究協力して、魅力を再発見。グループ行動することとで結末。学びを通して観光振興に役立てたいとの結果であった。



編集後記

十六期新入生と新スタッフを迎え、行田市民大学は活気づいていきます。市民大学を行田市民や地域の人々に広く知っていただき、市民大学がますます充実するよう、がんばります。

編集委員

原口廣之 茂木幸蔵 大実賢廣 田島実
伊藤伸予 井上文和 水出みよ子